

平成28年度事業報告

I 事業

中小企業のニーズに応え各種支援事業を実施するなど、名古屋市と密接に連携し、公益財団法人として、産業振興施策を推進した。

具体的には、先端技術研究開発の支援やプラズマ技術の産業応用支援に努めたほか、中小企業経営や創業・新事業等に関する相談・研修事業、中小企業の技術者の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を実施した。

また、指定管理者として、名古屋市中心企業振興会館、名古屋市国際展示場などを管理運営し、利用率の向上に努めた。

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	決算額	61,241 千円
---	--------------	-----	-----------

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・ 国立研究開発法人理化学研究所
「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」
- ・ 公益財団法人名古屋産業科学研究所
「シリコンカーバイドの単結晶を用いた超硬工具の研究開発」
- ・ 公益財団法人名古屋産業振興公社
「テラヘルツ光技術の産業応用に関する研究」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	決算額	43,995 千円
---	----------------	-----	-----------

プラズマ技術産業応用センターにおいて、知的クラスター創成事業による研究成果等を活用し、中小企業の技術革新を進めるため、専門的知識・経験を有するテクニカルコーディネーター及びサブテクニカルコーディネーター等を配置し、名古屋市工業研究所の参画や関係大学の協力の下、中小企業等の様々なニーズにきめ細かく対応した技術相談や可能性トライアルによるテスト処理・分析を実施し、研究開発等を行った。

年4回 PLACIANEWS を発刊するなど、プラズマ技術の情報発信を通して、プラズマ技術によるものづくり技術の高度化の支援に努めた。

また、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業を会員としたプラズマが拓くものづくり研究会（略称「PLAM」）において、講演会等の実施によるプラズマ技術の普及啓発を推進した。さらに賛助員支援事業として、賛助員無料半日トライアルを行い地域企業のプラズマ技術の応用範囲拡大の為の支援をした。

(1) プラズマ技術産業応用センターの運営

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口

専門的知識・経験を有する職員を配置し、企業からの技術相談に対応した。

技術相談 173社 435件

イ テスト処理・分析

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

機器利用件数 27社 798件

ウ 協賛員の募集

技術相談やPLAM講演会において、協賛員募集のチラシ配布や説明を行った。

協賛員数 4社 7口

エ 可能性トライアルの実施

中小企業等のプラズマ技術応用に関する研究開発を企業の経費負担によって行い、技術的課題の解決を図った。

可能性トライアル数 12社 18件

オ プラズマ技術産業応用センター運営会議の開催

業界団体役員、有識者等を委員とした運営会議を設置し、プラズマ技術産業応用センター事業の戦略等について議論し、運営に反映した。

開催回数 1回

カ プラズマ技術産業応用センターの情報誌発行

PLAM会員及び関係機関の担当者に対し、プラズマ技術産業応用センター及びプラズマ技術に関する情報を年4回提供した。

キ 公社賛助員無料半日トライアル

公社賛助員企業への無料半日トライアル事業を行った。

企業数 5社

(2) PLAMの運営

会員企業 413社

講演会開催 4回（うち実習2回）

参加者 248人

3	共同研究事業	決算額	63,183千円
---	--------	-----	----------

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の運営管理及び研究開発を行った。

(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業（※経済産業省の補助事業）

- ・テーマ 「大変形に対応し安全性を向上した鉄道車両用連結部内装パネルの試作開発」
(平成28～29年度事業)

- (2) 研究成果展開事業(スーパークラスタープログラム)
 (※国立研究開発法人科学技術振興機構の委託事業)
 ・テーマ 「先進プラズマナノ表面改質技術・装置の開発」
 (平成25～29年度事業)
- (3) 研究成果展開事業(マッチングプランナープログラム)
 (※国立研究開発法人科学技術振興機構の委託事業)
 ・テーマ 「液面プラズマによる肌への安全性と抗菌性向上を目指した複合粉体調製技術の開発」
 (平成27～28年度事業)
- (4) 革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)
 (※国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の委託事業)
 ・テーマ 「真珠形成母貝アコヤガイ貝殻黒変に起因した真珠の品質低下を減らす研究」
 (平成28年度事業)

4	研究開発促進事業	決算額	22,529千円
---	----------	-----	----------

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

- (ア) 環境分野 資源循環型ものづくり研究会
 開催 2回、参加者 35人
- (イ) 医療・福祉・健康分野 ヒューマンインターフェイス研究会
 開催 1回、参加者 113人
- (ウ) 情報分野 Nagoya オープンイノベーション研究会
 開催 2回、参加者 165人
- (エ) ものづくり技術分野 CAEを活用したものづくり研究会
 開催 1回、参加者 36人
- (オ) デザイン分野 ものづくりデザインプラットフォーム
 講演会等 5回、参加者 197人

イ 連携相談事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク連携推進会議等の開催 2回

(2) 資源循環型ものづくりに関するシンポジウムの開催

- 開催日 平成28年12月14日
 場所 名古屋市工業研究所
 参加者 185人
 内容 特別講演会、事例研究の発表及び表彰、技術情報交流

(3) 医療介護機器・ロボット開発普及促進事業

講演会等 6回 425人

- (4) 名古屋市中小企業イノベーション創出プロジェクト
「IoT・新技術応用研究会」(※名古屋市の運營業務委託)
参加者 37人
全体指導 3回、80人
個別指導 78件

5	新事業創出支援事業	決算額	150,384千円
---	-----------	-----	-----------

(1) 相談、研修事業

ア 相談事業

中小企業の経営や創業等を支援するため、プロジェクトマネージャー等を設置し、窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行った。また、小規模企業経営力強化支援事業として経営アドバイザーを配置し、厳しい経営環境に直面している小規模企業者を対象に訪問等による各種相談を行った。

相談企業 499社(個人を含む)

相談等延件数 1,624件

うち、経営アドバイザーが行った訪問相談

相談企業 191社

相談件数 261件

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣(経営改善・創業・新事業)

経営改善等に取り組む中小企業に対して、中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣し、現場で実践的な支援を行った。

派遣企業 130社

派遣回数 369回

(イ) 専門家派遣(工業技術・技能指導)

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者(テクノアドバイザー)として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業 5社

派遣回数 34回

ウ 創業研修事業

創業セミナー&交流会

開催日 平成29年2月14日

場所 名古屋ビジネスインキュベータ白金

対象 創業を予定している方、創業まもない方等

参加者 47人(1部・2部の延べ参加者数)

内容 創業時の資金調達及び補助金申請のポイント等について

エ 事業可能性評価委員会の運営

中小企業が行おうとする新事業の可能性について評価した。

事業可能性の評価 1社

オ 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関(22支援機関)の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議(あいち新事業活動促進連携会議と合同)を開催した。

(2) ビジネスマッチング事業

ア ビジネスプラン発表会の開催

新事業に取り組む中小企業の販路拡大や事業提携を支援するため、事業計画を発表する機会を提供した。

プラン発表企業 2社

発表会参加者 134人(公益財団法人あいち産業振興機構等と共催)

イ 中小企業見本市等出展支援事業

市内中小企業者の首都圏・関西圏への見本市出展に助成を行い、販路開拓を支援した。

出展支援企業 11社

ウ 中小企業支援フォローアップ強化事業

新事業支援センターのマネージャーを推進役として、金融機関、大学、研究機関等との連携を強化し、各機関が連携した伴走型支援を実施した。

「気づきの場」(情報収集、各機関との交流の機会の提供)

開催回数 2回

参加企業 34社

「気づきの場」に参加した企業等への支援

支援内容 大学等研究機関との共同研究の仲介、企業間交流(連携)の仲介、大企業との取引仲介、展示会出展支援活用、専門家派遣活用等

延べ支援実施企業 43社

(3) 創業支援施設の入居企業への支援

ア インキュベーションマネージャーによる支援

名古屋ビジネスインキュベータ(nabi/金山)、名古屋ビジネスインキュベータ白金(nabi/白金)の入居企業への支援及び誘致を行った。

研修会等の開催 26回

経営相談 306件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者の支援を行った。

イ 創業準備ルームの開設及び運営

名古屋ビジネスインキュベータ白金において、市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに、創業マネージャー等による研修及び相談支援を行った。

第11期・第12期利用者 28名

平成28年度創業者 18名

6	普及啓発・情報提供事業	決算額	135,162千円
---	-------------	-----	-----------

(1) 普及啓発事業

ア 市民向け啓発事業（なごや・サイエンス・ひろば）

市民とりわけ子ども達に科学技術に対する理解と関心を深めてもらうため、なごやサイエンスパーク内の研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介、科学技術に関するイベント等を開催した。

開催日 平成28年8月6日

場所 なごやサイエンスパーク内
(サイエンス交流プラザ、先端技術連携リサーチセンター、
国立研究開発法人産業技術総合研究所)

参加者 2,478人

イ 「ナゴヤファッションコンテスト2016」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日 第1次審査会 平成28年6月3日

最終公開審査会 平成28年9月15日

場所 第1次審査会 品川区立総合区民会館

最終公開審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)

応募作品 4,086点 (うち海外からの応募作品221点)

来場者 696人 (最終公開審査会)

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催 7回

参加者 854人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異なった事業を行う中小企業が、相互に有する技術や市場に関する経験を活かし、技術交流と知識の融合化を促進する場を提供した。

講習会・講演会	20回
優良企業の見学会・交流会	20回
他都市の先端企業の見学会・交流会	4回
会員交流会等	9回

(4) ものづくり技術講演会・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「CFRPの用途・加工技術」をテーマとした、ものづくり技術講演会を開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり技術講演会

開催日	平成29年2月16日
場所	名古屋市工業研究所
参加者	285人

イ 工業技術グランプリ

開催日	平成29年2月16日
場所	名古屋市工業研究所
受賞企業	15企業

(5) 情報提供・交流フロアの運営

産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料(約4万冊)を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者	3,256人
情報交流フロア利用者	12,543人

(6) 見本市・展示会の開催支援

名古屋国際見本市委員会事務局を運営した。

(名古屋国際見本市委員会の展示会)

ア 第19回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2016～の開催

開催日	平成28年6月2日～4日
場所	ポートメッセなごや
出展者	160社・団体
来場者	73,881人
内容	福祉車両をはじめ、福祉用具、健康機器等の紹介・展示

イ 第4回中部ライフガードTEC2016～防災・減災・危機管理展～の開催

開催日 平成28年6月2日～3日

場所 ポートメッセなごや

出展者 126社・団体

来場者 20,040人

内容 「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」と共催で、最新の防災・減災・危機管理に係る製品・技術・サービス等を一堂に展示紹介

ウ 建設技術フェア2016 in 中部の開催

開催日 平成28年10月20日～21日

場所 吹上ホール

出展者 245技術／276社・団体

来場者 14,432人

内容 名古屋国際見本市委員会と国土交通省中部地方整備局主催で、産学間の技術情報交流の場を提供し、技術開発や新技術の導入を図るとともに、建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と今後の方向性を伝え、また、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々に紹介

エ 第6回次世代ものづくり基盤技術産業展

－TECH Biz EXPO 2016－の開催

開催日 平成28年11月16日～18日

場所 吹上ホール

出展者 211社・団体

来場者 17,891人

内容 次世代自動車・航空機産業などに活かす新素材・最新加工技術・関連サービス等を紹介

(7) ロボカップ2017名古屋世界大会の開催支援

ロボカップ2017名古屋世界大会の開催を支援するため、ロボカップ2017名古屋大会開催委員会事務局に職員を派遣した。

7	産業人材育成事業	決算額	32,347 千円
---	----------	-----	-----------

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の育成、熟練技能者の退職に伴う技能継承など、中小企業の技術開発力強化のための研修・実習等を行った。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習

電子回路技術研修など10コース 受講者 144社 177人

イ 中小企業技能者育成講座

熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座

鉄工技能士1級2級受検対策講座など3コース

受講者 53社（個人を含む） 60人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等（ものづくり支援講座6コース）を開催した。

ア 産業用ロボット作業者特別教育講習会

開催 年6回（奇数月隔月） 受講者 159社 232人

イ 現場管理者の生産管理技術（トヨタ生産方式）研修

受講者 16社 25人

ウ 機械設計図面の見方・読み方研修

受講者 24社 42人

エ 機械設計図面の書き方研修

受講者 10社 15人

オ 知的財産担当者養成講座

受講者（前期） 7社 11人

（後期） 7社 11人

カ 機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

受講者 10社 11人

8	工業技術情報提供事業	決算額	7,944 千円
---	------------	-----	----------

(1) 新春講演会・懇親会の開催

開催日 平成29年1月27日
 場 所 キャッスルプラザ
 内 容 「人間との共生が課題のこれからのAI・ロボット」
 講師 大阪大学大学院教授 浅田 稔 氏
 参加者 121人

(2) 情報提供

ア 先進工場見学会の開催

開催日 平成28年12月8日
 場所 兵神装備(株)滋賀事業所、東レ・カーボンマジック(株)
 参加者 31人

イ 「技術のひろば」の発行

発行 2回 発行部数 各1,500部

ウ 商品展示・カタログ展示

(ア) 商品展示

展示場所 ナディアパーク デザインセンタービル
 展示企業 7社

(イ) カタログ展示

展示場所 名古屋市中小企業振興会館
 名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや)
 名古屋市工業研究所
 展示企業 25社 ※名古屋市工業研究所のみ27社

エ TECH Biz EXPO 2016における賛助員の出展等を支援

(ア) 賛助員コーナーを設置 13社14小間出展

(イ) ビジネス商談会参加 発注企業 (賛助員) 5社 7件
 提案企業 (賛助員) 11社 11件
 商談件数 2件

オ 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

カ 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

※参考 賛助員数 277社 (平成29年3月31日現在)

9	経済交流・誘致促進事業	決算額	8,216 千円
---	-------------	-----	----------

外資系企業の名古屋進出を促進するため、名古屋市、愛知県、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所が共同で設立した「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」に職員を派遣し、国・県、名古屋市を始め関係機関と連携した活動を行うことにより、外資系企業の誘致を行った。

外資系企業の誘致件数 4 件

10	関係団体事務受託事業	決算額	2,957 千円
----	------------	-----	----------

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

団体名・代表者	助言者	会員
テクノプラザナゴヤ 88 会長 株式会社吉田 S K T 代表取締役会長 吉田 由孝	山下 菊丈	30 社
テクノプラザナゴヤ 001 会長 アサヒ繊維工業株式会社 代表取締役社長 浅井 耕治	愛知学院大学 教授 岩田 憲明	20 社
テクノプラザナゴヤ 90 会長 萩原電気株式会社 代表取締役会長 萩原 義昭	株式会社三進製作所 相談役 福田 正	21 社
テクノプラザナゴヤ 91 会長 浪速金液株式会社 代表取締役 林 雅史	林 盛彦	19 社

(2) 各種研究団体

- 中部生産加工技術振興会
- 中部塗装技術研究会
- 中部歯車懇話会
- 中部溶接振興会
- 名古屋テキスタイル研究会
- 日本カム工業会
- 鍍金技術研究会

11	産業振興施設の管理運営	決算額	1,178,822 千円
----	-------------	-----	--------------

(1) 展示施設

施設名	利用件数	利用日数
名古屋市中小企業振興会館		
吹上ホール	90件	261日
第1ファッション展示場	108件	250日
第2ファッション展示場	87件	202日
名古屋市国際展示場		
(ポートメッセなごや)		
第1展示館	27件	75日
第2展示館	69件	188日
第3展示館	73件	226日
デザインホール	155件	240日

(2) 研究開発・支援施設

- ア 名古屋ビジネスインキュベータ、名古屋ビジネスインキュベータ白金
名古屋ビジネスインキュベータ(nabi/金山) 入居23社
(平成29年3月31日現在)
- 名古屋ビジネスインキュベータ白金(nabi/白金) 入居36社
(平成29年3月31日現在)
- イ サイエンス交流プラザ
- インキュベータ入居 7室 (平成29年3月31日現在)
- 大会議室利用 32件
- 中会議室利用 68件

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	決算額	57,601 千円
---	----------	-----	-----------

名古屋市中企業振興会館及び名古屋市国際展示場の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行ったほか、両館で開催されるイベント案内を掲載したイベントカレンダーを作成した。

施設管理附帯事業収益（主なものを掲載）

貸出備品

名古屋市中企業振興会館	40,713 千円
名古屋市国際展示場	38,011 千円

自動販売機収入

名古屋市中企業振興会館（19 台）	13,668 千円
名古屋市国際展示場（29 台）	29,174 千円

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	決算額	70,515 千円
---	-------------------	-----	-----------

名古屋市中企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行った。

II 庶務の概要

1 理事会

第1回	期日	平成28年5月24日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	(1) 平成27年度事業報告及び決算報告について (2) 平成28年度補正予算について (3) 特定費用準備資金等取扱規程の制定及び特定資産取得・改良資金の積立てについて (4) 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
	報告	(1) 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	期日	平成28年6月13日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	(1) 理事長の選定について (2) 副理事長、専務理事及び常務理事の選定について (3) 常勤理事の平成28年度の報酬額について
第3回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成28年10月21日
	議案	(1) 平成28年度補正予算について
第4回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成28年11月1日
	議案	(1) 第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
第5回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成28年12月1日
	議案	(1) 平成28年度補正予算について

第6回	期日	平成29年3月24日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度事業計画案及び収支予算案について (2) 常勤理事の平成29年度の報酬額について (3) 公益財団法人名古屋産業振興公社給与規程の一部改正について (4) 特定費用準備資金について (5) 経営戦略計画の策定について
	報告	(1) 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況の報告について

2 評議員会

定時	期日	平成28年6月13日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成27年度計算書類等の承認について (2) 役員及び評議員の報酬等支給規程の一部改正について (3) 理事の選任について (4) 監事の選任について (5) 評議員の選任について (6) 理事長の報酬に係る業績評価委員会委員の選定について
	報告	(1) 平成27年度事業報告の内容報告について
第2回	期日	書面により評議員会の決議があったものとみなされる日 平成28年11月1日
	議案	<ul style="list-style-type: none"> (1) 評議員の選任について (2) 理事長の報酬に係る業績評価委員の選定について

3 理事長の報酬に係る業績評価委員会

第1回	期日	平成29年1月26日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議題	理事長の報酬に係る業績評価